

平成 16 年 10 月 20 日

各 位

会 社 名 デジタルアーツ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 道具 登志夫
コード番号 2326 大阪証券取引所 ヘラクレス市場
問 合 せ 先 取締役経理本部長 後藤 茂
(TEL 03-5485-1340)

平成 17 年 3 月期 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向を踏まえ、平成 16 年 8 月 4 日の「平成 16 年 3 月期 決算短信(非連結)」発表時に公表した平成 17 年 3 月期(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)の業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 中間期の業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 16 年 9 月 30 日)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	379	20	68
今回修正予想(B)	431	42	78
増減額(B-A)	51	22	9
増減率(%)	13.5%	113.2%	13.5%
前年同期実績(平成 15 年 3 月期)	385	17	13

(金額の単位:百万円 百万円未満切捨)

2. 通期の業績予想数値の修正(平成 16 年 4 月 1 日～平成 17 年 3 月 31 日)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	780	50	84
今回修正予想(B)	780	60	85
増減額(B-A)	0	10	1
増減率(%)	0.0%	20.0%	1.8%
前年同期実績(平成 15 年 3 月期)	609	△77	△118

(金額の単位:百万円 百万円未満切捨)

3. 修正の理由

当社の主力事業であるセキュリティ事業において売上が好調に推移したことによって、平成 16 年 8 月 4 日に発表した業績予想を大きく上回る売上高 431,295 千円(前年同期比 112.0%)となる見込みです。売上高の拡大に伴い経常利益では 42,767 千円(前年同期比 241.0%)、中間純利益では 78,248 千円(前年同期比 596.8%)となるため、業績予想を上方修正いたします。

当事業における主な製品別の状況は下記の通りです。

〈企業向け製品〉

これまで、就業中に不必要なサイトアクセスを制限するツールとして認知されていた Web フィルタリングソフトを、社内からのブラウザ経由の情報漏洩対策ツールとして売り出したことに加え、情報漏洩対策機能部分を強化した「i-フィルター Business Edition Ver.5.5」をリリースしたことが評価され、企業向け製品は堅調に推移し売上高 177,831 千円(前年同期比 125.8%)となる見込みです。

〈公共向け製品〉

これまで停滞していた国や自治体からの IT 関連予算の投下状況も改善の兆しが見られ、市場環境は回復の傾向にあります。こうした状況のなか、当中間期では学校内における安全なインターネットの利用環境構築の為、従来の学校向け Web フィルタリングソフト「i-フィルター School Edition」並びにセキュリティ重視型総合サーバ「コミュニケーションサーバシステム」をバージョンアップし売上の拡大に努めた結果、当初の予想を大幅に上回る売上高 167,859 千円(前年同期比 144.1%)という結果となる見込みです。

〈家庭向け製品〉

当中間期では、一般家庭においてインターネットに潜む危険性への認識が高まり、同時にマスメディア等を通じてその対策となる Web フィルタリングソフトが大きく取り上げられたこともあり、7 月にバージョンアップした「i-フィルター Personal Edition3」は好調に販売が進み、当初の予想を上回る売上高 39,072 千円(前年同期比 104.1%)となる見込みです。

また、あわせて前年度末では 72 社(局)であったインターネットサービスプロバイダからの当社 Web フィルタリングソフトの提供社数は 80 社(局)まで拡大しております。

4. 今後の見通し

当期下期についても Web フィルタリングの販売は、順調に推移するものと考えております。当期下期においても当期上期同様、より一層の業績の向上に努めてまいります。それによって計画値や業績の変動が見込まれる場合は、速やかに開示してまいります。

また、当社の全体的な今後の見通しの詳細につきましては、平成 16 年 11 月 4 日発表予定の「平成 17 年 3 月期 中間決算短信(非連結)」をご覧ください。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。また、本発表数値につきましては速報値でありますので、今後の会計監査により中間決算発表時の数値と若干のずれが生じる可能性がありますので、予めご了承願います。

以上